

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	お客様の様子	・東京オリンピックが近づいているため、景気が良くなる。
		百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・9月中旬以降、消費税増税前の駆け込み需要がようやく現れてきた。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・消費税上げの影響で9月は来客数が前年比1.3倍になり、3か月前に比べれば異常な状況になっている。来客数と単価が共に前年を超えている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・前月から回復傾向にあり、販売数が増加した。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・5月の天皇陛下の御退位及び皇太子殿下の御即位以降、観光客が増えている。夏休みもこの地域は前年を上回る人出が続いた。台風や豪雨など荒天の日を除き、来客数は増加している。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・秋学期用教材の販売が、消費税上げの影響もあり順調に推移している。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込みは、化粧品、アクセサリや海外高級品などが短期間で大きな売上の伸びを示し、短期集中の状況であった。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・消費税増税前の駆け込みによる。
		百貨店（計画担当）	お客様の様子	・高額品や身の回り品を中心に、ようやく消費税増税前の駆け込み需要が増えている。
		スーパー（販売担当）	単価の動き	・月末になるほど消費税上げ前の駆け込み購入が増えている。食料品は引上げにはならないが、全体に購買意欲が高まっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要を差し引いても来客数は増えている。ただし、客単価は下落している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・月末間際になって、酒やたばこで消費税増税前の駆け込み需要があり、今月の売上は若干ではあるが前年同月を上回っている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込みで当然ではあるが売行きは良い。10年以上使っている家電を買換えておこうという客が多い。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	単価の動き	・消費税上げ前の駆け込みで高単価商品がよく動いている。冷蔵庫やドラム式洗濯機は、メーカーのモデルチェンジ時期と重なり、完売機種もあった。4Kテレビ、パソコン等も前年超えとなり、メディアの影響もあり、来店客には高単価の商品を買う客が多いので、来客数は前年並みでも売上は伸びている。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・消費税増税に伴い、駆け込みの修理や早期車検などが多かった。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・今月は消費税増税前ということもあり、月内に登録できる新車やすぐに登録できる中古車の依頼が多かった。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要があり、前年比でも100%を超えて予想どおりの結果になった。また、増税前に車検や点検を前倒しで受ける客も多く、全体的な数字を押し上げた。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	販売量の動き	・消費税上げ前の現象である。
		一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・行楽シーズンになり家族での食事が増えている。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・催事宴会の不発と婚礼の減少によるマイナス面もあるが、久しぶりにその他の部門が前年をクリアできそうである。宿泊客数は、前年に風水害で減少する前の一昨年並みだが、全国大会の当地開催によって館内に及ぶ特需を得たことが寄与している。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月は特に良くなったとはいえないが、入場者数が現時点において、4月以降初めて前年同月を上回っている。月末もこのまま推移すると見込まれるので、3か月前よりは少し良くなっている。	
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価の動きがやや良くなっている。	

美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・10月から消費税が引き上げられるということで、9月中にセット商品を購入する客が多い。
美容室（経営者）	単価の動き	・消費税引上げ前に、少し単価の高い商品の購入や、カットだけでなくカラーやパーマをする客が今月は多い。
美容室（経営者）	お客様の様子	・7～8月は余りにも暑く来客数が減少した。9月に入るとある程度の我慢もできる暑さになり、パーマを掛ける客が増加した。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	販売量の動き	・他の仲介会社からの問合せが、3か月前の1.2倍に増加している。売上も1.2倍に増加している。
商店街（代表者）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要が、全くといっていいほどなかった。
商店街（代表者）	単価の動き	・10月の消費税引上げ前に需要が伸びると見込んだが、いまだに販売単価そのものが低いままである。
商店街（代表者）	お客様の様子	・消費税引上げ前の駆け込みが多少はあったが、前回ほどではなく、メーカー側も忙しくないと言っていた。
一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	販売量の動き	・来月からの消費税引上げによる影響は、当社は食品取扱業者であるので無関係であるが、世論の動向に非常に影響されるので、その見極めが難しい。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・個人消費はずっと低迷している。来月からの消費税引上げが不安である。
一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・お彼岸の売上、販売量は前年とほぼ同じだった。特に忙しくもなく、客の様子も変わりはない。平日は店に活気はなく、静かである。
百貨店（経理担当）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要により売上は前年を超えているが、盛り上がっているようには感じられない。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・消費税増税前の駆け込み需要の稼働価格帯は中高単価品である。しかし、期待した規模ではなく、前回の駆け込みに比べ少なかった。客の買う、買わないの判断は明確だった。ギフト需要は、低単価品が安定的に稼働している。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・消費税増税対策として消耗品は好調である。
スーパー（店長）	来客数の動き	・消費税増税の前月ではあるが、特に来客数には変化ない。軽減税率の影響かもしれない。
スーパー（店員）	単価の動き	・大きなイベントや行事もなく、平均的な売上の推移が続いている。秋の味覚のクリやナシなどが入荷しているが、飛ばのように売れているわけでもない。
スーパー（販売担当）	それ以外	・消費税増税前の駆け込み需要は特にない。定番商品がコンスタントに動いている。
スーパー（商品管理担当）	販売量の動き	・今月は消費税引上げに伴い日持ちのする物が1.3倍の動きをしているが、来月は反動がありそうである。景気回復の実感はない。
スーパー（ブロック長）	お客様の様子	・3連休での売上増に期待していたが、来客数は前年割れである。単価、購買点数も共に厳しい数値である。消費税増税前の需要喚起策にも、客の反応は鈍い。
コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・前年は猛暑により飲料が売れていたが、今年はそこまでは売っていない。また、前年はたばこの値上げ前の駆け込み需要があったが、今年はそういった傾向はない。前月と同程度の水準で推移している。
コンビニ（企画担当）	単価の動き	・消費税増税前の駆け込みでまとめ買いの需要が見込まれるが、前回より盛り上がりには欠けそうな雰囲気である。良い方に考えれば、増税後も変わらずに推移しそうな食品が軽減税率なことが、雰囲気を緩和している。
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・消費税増税前ではあるが、駆け込みでの消費は大きくはみられず、増税の影響も軽微と見込まれる。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・季節的に暑い日が続いたため、来客数は前年比で4.5%改善し、特に調理麺、調理パン、ソフトドリンクやアイスが好調に推移した。その反面、重点管理商品の伸長がなく、売上高は前年比で大きく変化していない。

	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は前年同期とほとんど変わらずに推移している。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客の動き次第で売上高は大きく左右されているが、ますます堅調になっている。
	衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・来月からの消費税増税に向けた駆け込み需要を期待していたが、前回5%から8%への増税時ほどの効果は得られなかった。こちらが期待するほど、客は増税を意識していないように見受けられる。
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・9月決算の時期であり、消費税引上げ前であることを考えると、客の購買意欲は弱い。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・消費に積極的な様子は見受けられず、節約ムードが続いている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税引上げを控え、客の消費に対する目線が日用品に向かっているようで、新車の商談に対しては余り関心を持ってもらえない。客に大きな購買意欲はみられず、なかなか財布のひもは固いと感じられる。
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・台風等の災害はあるものの、世の中が落ち着いた状態にあることと、これからの東京オリンピックへの期待感があり、景気は落ち着いている。
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・消費税引上げ前の駆け込みは9月前半で終わって、後半はさほど来客数は伸びなかった。
	住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・10月の消費税引上げ前の発注や細かい現場のリフォーム工事等の受注が増えている。その反面、その後については、過去のような反動減はないものの、多少落ち着くように見受けられる。
	その他専門店【書籍】（店員）	単価の動き	・今月は消費税増税前の駆け込み需要が後半に増えてきたため、売上は僅かだが前年を上回っている。
	高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・消費税引上げを控え、早番の来客数は微増、単価の上がる遅番は減少気味であり、節約を意識している。団体予約などは、一部で9月中旬に前倒しでの利用もみられた。
	その他飲食【仕出し】（経営者）	販売量の動き	・消費税増税による駆け込み需要もさほどなく、何気無く安定している雰囲気である。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊に関しては前年比100%で堅調であるが、昼食、夕食が90%前後で地元需要が伸び悩んでおり、どちらともいえない状況である。
	都市型ホテル（総支配人）	単価の動き	・宿泊部門は前年比マイナスで単価は大きく低下している。レストラン部門も来客数減で、悪いまま変わらない。
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ホテルの宴会場の利用は増えていっている。法人需要、個人需要共に好調で、客との商談の中では業績不振との話をよく聞かすが、利用自体は増加傾向である。
	旅行代理店（経営者）	それ以外	・消費税引上げ直前のまとめ買いによる消費の増大が、多少でも消費の減少を食い止めている。日頃は満車にならない大型スーパーの立体駐車場が、順番待ちになるくらいの来店客となっている。
	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・今年は長期の休みが多かったせいか、年末年始にかけての9連休の問合せが大変鈍い。直近のアジア方面も、韓国、香港や香港経由の航空券にも影響が出ていて国内にする傾向がある。国内市場は消費税増税が大変気になる。
	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・前年のような猛暑や台風など天候による売上への打撃もなく順調である。
	旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・消費税引上げに備えて余暇に充てていた金を生活費に充当する気配がある。無駄遣いを抑え、様子見の状態のため旅行申込みは減少気味である。一方、会社の出張による業務渡航等は、一定の申込みが継続している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・街中の繁華街、飲食店も相変わらず人出が少なく。最近では週末も少ない状態が続いている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・ここ最近、ほとんど変化がない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は、市内で大きなイベントがあったり、ホームセンター等で日用品を買った大きな荷物を持つ客が多かった。また、都心のデパートも駐車場は満車状態で、消費税増税前の駆け込み需要の影響でタクシーを利用する人もいた。

通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・新規申込みと同じくらい解約がある。また、ネット回線のみで固定電話は持たない人も増えている。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・高齢層の客が多いためか、景気に左右されることなく、必要な分のみの注文で余分な金は使わない傾向が続いている。
テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・天候に左右される業種であるため、その部分を差し引いて考えれば、前年同月比で大差はない。
その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・定期券等通勤通学での売上高は堅調なものの、一般客の売上は横ばいの状況である。観光列車等その他の収入は下降気味で、集客数が影響している。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量が若干下がってきている。
商店街（代表者）	単価の動き	・今月も1000円以下の商品は前年を上回っているが、1000円以上の商品は下回っている。食べ歩き向けの商品も、カップル二人で1本である。
商店街（代表者）	販売量の動き	・相変わらず客単価が低く、販売量、売上につながっていない状況が続いている。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・ここ2～3か月、3か月前と比べてマイナス傾向が続いている。消費税増税前で9月は先買いがあるかと見込んだが、思うようには数字が伸びていない。個人客も法人客も将来のことを考えて、また物価上昇を考えて財布のひもは固くなっている。
一般小売店〔文房具〕（店員）	それ以外	・円高のためインバウンド需要が少なくなってきている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月は北海道物産展を開催しており物産店の来客数は多かったが、その客足が広がらず、平日の来店数が減少している。夕方になると会社帰りの来店数は増加するが、購入せずに見ているだけの客が多い。
百貨店（経理担当）	お客様の様子	・日韓関係の悪化が長期化し、需要が縮小している。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・中小小売店の店主は、9月に入って急に来客数が減少していると言っている。消費税引上げの関係で、大手に客が行っているのではないかと危惧している。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・来月から消費税が2%引上げとなるが、駆け込み需要は余り盛り上がりなかった。家庭の収入が伸びないため消費に使う金が限定され、お買得商品を販売している店に集中している。消費者は、新聞、テレビ、スマートフォン等の情報から景気が良くないと知り、財布のひもも固くなり、景気は徐々に悪くなっている。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数の減少は、消費税増税前の買い控えと決めつける人もいるが、旬の商品を中心とした訴求力が弱かったことが大きな原因である。
スーパー（経営企画担当）	お客様の様子	・生活雑貨などを消費税増税前に買う客がいるが、その分食料品への出費を抑えているのか、生鮮の売上が落ちている。
スーパー（営業企画）	お客様の様子	・消費税引上げ前のまとめ買いのためか、1品単価は下がっているが買上点数が上がっており、結果的に売上は前年を上回っている。景気が良いとは感じられない。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3連休の活性化する日の天候不順や台風の頻発などの影響により来客数が減少しており、各種イベントに対する足かせとなってしまった。
コンビニ（本部管理担当）	単価の動き	・消費税引上げ直前の9月なので、コンビニレベルでも売上は前年比100.4%と好調である。特にまとめ買いが重要で、客単価の伸長が顕著な状態である。ただし、当然のことながら10月以降は消費が落ち込むことが予想され、先行きは暗い。
衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・同業者の会合では、消費税増税前の駆け込みもなく、皆、売上は下がっているといっている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量、受注量が減少し、反響も少なかった。良い季節で売上も良いはずだが、全体的に動きがやや悪い。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・半期決算のイベントをしたが、納期が掛かる車が多すぎて、販売台数は伸び悩んでおり、店舗全体で目標台数を達成できず、販売台数は目標の90%で推移している。

	乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・消費税引上げに伴い自動車に関する税制が変更され、商品によっては増税後の方が安くなるとの情報が出ているため、客も静観している様子で、いわゆる駆け込み需要はないに等しい。	
	その他小売 [ショッピング センター](経 理担当)	販売量の動き	・販売数量、来客数共に、前年比マイナスの長いトンネルが続く。	
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・少し買い控えで客がやや少ないように見受けられる。	
	一般レストラン (従業員)	お客様の様子	・今月は3連休が2週続けてあったため、後半は店が暇だった。	
	その他飲食[ワ イン輸入](経 営企画担当)	お客様の様子	・消費税引上げは、実際の負担感よりも消費マインドを下げている。増税以降は買物を控えると話す人が増えた。	
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・予約のタイムラグが大きくなっている。	
	旅行代理店(経 営者)	販売量の動き	・年内の受注は7月以前に受注している。しかし、8月以降の受注は少なくなっている。	
	通信会社(企画 担当)	販売量の動き	・新規契約数は前月並みで推移しているが、解約件数は増加傾向にある。	
	通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・徐々に減少傾向にある。	
	テーマパーク (職員)	お客様の様子	・客の動きがない。	
	観光名所(案内 係)	お客様の様子	・観光施設ではなぜか高齢者の姿を見掛けない。	
	理美容室(経営 者)	来客数の動き	・客との話の中で余り良いニュースがないため、景気が悪くなっていくのではないかと見込まれる。	
	美容室(経営 者)	お客様の様子	・美容業界は女性相手の仕事であり、当地は若い女性の人口が減っているため大変である。	
	その他サービス [介護サービ ス](職員)	販売量の動き	・介護リフォームの元請をしているが、消費税引上げ前だけあって、受注をしても工事業者のスケジュールが9月中に押さえられなかった物件が幾つもあった。	
	設計事務所(職 員)	お客様の様子	・消費税増税もあり、周りで景気の良い話は聞かない。	
	住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・地元中堅の業者が倒産した。	
	その他住宅[住 宅管理](経営 者)	単価の動き	・今月やりきれなかった仕事は、消費税増税分を値引きで対処している。仕事が増えても利益が残らない。	
	×	一般小売店[酒 類](経営者)	来客数の動き	・飲食店への来店機会の減少がとまらない。外食から中食へ完全にシフトしている。
	×	スーパー(商品 開発担当)	販売量の動き	・売上は前年同月比90%での着地見込みである。予算も大幅に割る見込みである。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・街に出ている人が少ない。来客数も減少している。
	×	理容室(経営 者)	お客様の様子	・客の来店サイクル期間が長い。
	×	設計事務所(経 営者)	来客数の動き	・設計自体の案件は減少している。
	×	住宅販売会社 (経営者)	それ以外	・消費税引上げ、住宅ローン減税等で住宅購入を控えている客もいる。
企業 動向 関連 (東海)	-	-	-	
	一般機械器具製 造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・北米・南米の自動車部品製造設備では、引き合い、受注共にまだ少なく例年の水準には達していないが、改造案件や納期が短い案件で少しずつ引き合いが増えてきた。	
	電気機械器具製 造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・消費税引上げ前の駆け込み需要で良くなっている。	
	輸送用機械器具 製造業(品質管 理担当)	取引先の様子	・消費税増税前なので買いだめをしているという話を多方面から聞く。	

化学工業（総務秘書）	それ以外	・日米貿易協定が締結され、世論はそれほど否定的に捉えておらず、悪影響は当面ない模様である。消費税増税前の駆け込み需要も少なめで世間は穏やかである。ラグビーワールドカップの日本代表は好調で、精神的に景気には良い影響がある。
金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・忙しい状況は引き続き変わらない。方向性としては、受注量が多く納期が間に合わないが続いている。
電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客先業界全体で悪い状態が続いているなかで、特に設備投資関連の景気が悪い。低価格競争もあり、当社商品の売上が良くない。
電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・東京オリンピック前後には建設関係の需要が落ちてくるとの観測があったが、当社の周りの通信インフラの構築等では、今のところ受注量も前年並みであり比較的好調である。
輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・中国向けの輸出が伸びていない。
輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・製造業を中心に物量が落ちており売上が減少しているが、配送頻度は変わらず利益を圧迫している。また、消費税増税前の消費財の荷動きも低調である。
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物全体として減少している。
輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・6～8月と受注量は下がった。9月は多少上向きだが、6月からのトータルでみると前年並みといったところである。
通信業（総務担当）	それ以外	・直近のイベントは、何といても10月からの消費税引上げであるが、消費の先食いは一部にみられる程度で、冷静に必要なときに購入するという消費者も多く、先取りの波にはなっていない様子である。小売店レジスターのキャッシュレス決済対応は進んでいるらしく、これに特典を付けたイベントによる消費増加は、少しあるように見受けられる。
金融業（従業員）	取引先の様子	・建築業等は、比較的景気がやや良い方向にあるが、今後は横ばいとなり、東京オリンピックに向けて安定する。
金融業（企画担当）	取引先の様子	・株価も為替も大きな変化はなく、個人投資家の様子見は続いている。含み益が出てこない個人投資家は動きづらい。個人投資家以外の個人も、消費税増税前の駆け込み消費は多くない。
不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴天が多いこともあり好調に推移し、売上は前年同期を上回っている。駐輪場は低額で利用できることもあり、必要な出費を惜しむほど景気は悪くない。
不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・消費税増税に関連した売買価格の変動は余りなく、ここ数か月は安定している。
広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・消費税の引上げ率が中途半端なためか、駆け込み需要による広告出稿はほとんどない。
行政書士	受注量や販売量の動き	・ゴールデンウィークやお盆休みが長くて車両の稼働日数が減り、廃業した客がいる。
公認会計士	それ以外	・客先の業績が厳しい。中堅中小企業の廃業が増加している。
その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	競争相手の様子	・消費税引上げ前の駆け込み投資はない。経営者は既に景気は下降と感じており、無理して投資をせず抑える方向に向かっている。
食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・残暑の影響で秋冬商材の立ち上がりが不調である。消費税引上げを控え、先行きに明るい兆しは見いだしづらい状況である。
食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が前年実績よりも減少傾向にある。
パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・台風、猛暑等の影響で農産物、青果物の販売が悪く、景気はやや悪い。
窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・同業他社からは、現状で非常に受注量が少なくなっているという話が多く聞かれる。当社としては、それほど受注量は減っていないが、業界全体ではかなり冷え込んでいる。

	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量は本来ならば季節要因で平常時より10%ほど上向く月に入っているが、現状は辛うじて平月並みになっているので、実質10%弱の落ち込みである。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。良くない状況である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工作関係機械部品の動きが、ここにきて完全に止まったような状況になりつつある。	
	輸送業（役員）	受注量や販売量の動き	・消費税率の引上げを前にして、前回の3%アップ前は駆け込み需要により大きく輸送量が増加したが、今回はようやく直前の1週間前に輸送物量が増えている状況である。今回はアップ幅が小さいこともあるが、節約志向が顕著で一般消費雑貨の荷動きが低調である。中東情勢の不安要素もあり、消費税引上げとあいまって、10月以降は更に景気の鈍化が見込まれる。	
	輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前と比べ、荷物のキログラム単価が下落している。6～7月からその傾向があり、まだその流れが止まっていない。加えて1日当たりの荷物量も減少している。	
	通信業（法人営業担当）	取引先の様子	・消費税増税前に、設備投資等の引き合いがあると期待していたが、全くない。法人税減税でも内部留保最大でも、設備投資もなく新規事業投資もない。少し日本経済が心配になる。	
	通信業（法人営業担当）	それ以外	・消費税引上げによる買い控え、心理面も合わせて消費が抑えられてくる。これが一番である。食料品以外のほとんどがアップすることは日常生活に大変な影響がある。引上げ前の駆け込み需要も特に感じられず、増税後についても、当分の間買い控えが続く可能性が大きい。自分の業務も秋の繁忙期もなく、逆に後退気味である。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・規模の小さい会社は、現在好調だが、大会社の子会社などは既に受注が減少し始めている。大会社から中小零細へと傾向が伝わっていくのには時間が掛かる。今後は中小零細も受注減が波及していく。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・消費税引上げの話題よりも、世界経済の落ち込みや円高への不安等が大きく、国内消費に活気がない。また、設備投資も小規模に限られ、どの企業も活況ではない。	
	x	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・リード役であった液晶、半導体、ロボット、工作機械全ての業種で下落傾向にある。車がやや良いかという程度である。
雇用 関連 (東海)	-	-	-	
		アウトソーシング企業（エリア担当）	求人数の動き	・当地区の自動車メーカー及び一次下請、二次下請企業の求人募集がストップしていたが、募集再開の動きがみられる。
		人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・消費税引上げによる駆け込み需要の後も、各店舗で提案されるポイントや割引などで、当面は変化がない。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・特に変わらないが、例年より法人関係の利用が少し多かった。
		人材派遣会社（企画統括）	採用者数の動き	・新規求人数は横ばいだが、中小企業では人材確保が厳しい状況が続いている。
		求人情報製作会社（営業）	求職者数の動き	・依然として、求人市場では企業の求人意欲が高く売手市場である。国内外の政治不安など、国内企業への業績影響が不透明ながらも、現在のところ人材市場は底堅い。
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・新規求職者数が前年同月比より、1割強ほど減少している。
		職業安定所（次長）	求人数の動き	・有効求人倍率は依然として高水準で推移しており人手不足感が強い。新規求人数についても目立った動きはみられない。
		人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・複数の客において、開発予算の抑制の動きが鮮明化している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・消費税引上げと同一労働同一賃金の法施行により、派遣人材の活用を各社が控える傾向がある。
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・工作機械の受注額が減っている。	

	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・主要取引先の自動車メーカーでは研究開発費の削減を進めており、当社に対しても予算削減を言及されている。予算削減の執行はすぐではないものの、景気が悪くなってきていると考えられる。
	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・求人、求職共に都市部と地方での格差が拡大し、業種によってもかい離がある。全体でも派遣の契約開始、終了共に前年の1割減となっている。
	新聞社 [求人広告] (営業担当)	求人数の動き	・特に製造業で求人数が減っている。新卒採用で採りきれなければ、次年度に先送りする企業が増えている。
	職業安定所 (職員)	それ以外	・雇用保険受給資格決定件数が前年同月比で3か月連続の増加となっている。
	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・韓国向け輸出管理の見直しの影響から事業縮小を行う事業所が出始めている。また、業種を問わず中小零細事業所の事業閉鎖や倒産の届出が数社あった。
	職業安定所 (次長)	求人数の動き	・9月に入り、新規求人数が前年比で大幅な減少傾向にある。
	職業安定所 (次長)	求人数の動き	・製造業を中心に求人の動きが鈍っており、前年同期比マイナスが続く状況である。
	民間職業紹介機関 (営業担当)	採用者数の動き	・今後の景気動向の不透明感も影響し、面接通過率が下がるなど、採用に慎重な姿勢を見せる動きが強まっている。
×	新聞社 [求人広告] (営業担当)	それ以外	・世の中の人手不足は相変わらずではあるが、新聞の部数減、高齢者に偏った読者などの理由により、完全に人を募集できる媒体ではなくなったと企業は判断している。